

1991年

一月二十九日、井上靖会長が急性肺炎のため逝去。当協会に大きな喪失感と悲しみをもたらした。創立当初から日中友好と日中文化交流のために尽力し、八〇年六月に中島

会長の後を継いで会長に就任、協会を代表して活躍した。五、六月以来続いた記録的豪雨のため中国に大きな水害が発生。当協会は、中国政府の国際的人道主義による緊急災害援助を求める呼びかけに応じ、救援金の寄託を受け付

け、名簿とともに中国大使館へ届けた。世界はこの年、湾岸戦争で始まり、ソビエト連邦崩壊で暮れた。日本は海部内閣から宮沢内閣へ。
 〇九一年の主な交流

〇1月 井上靖会長逝去。
 〇2月 東京・青山葬儀所で故井上靖会長葬儀告別式。
 〇3月 賀敬之文化相一行（賀敬之文化相、侯敏沢、趙鉄信、趙宝智、張愛平の諸氏）が当協会と外務省の招きで来日。
 〇4月 中国作家代表团（姚雪垠团长、徐光耀、李准、陳建功、通訊・李錦琦の諸氏）来日。日中文化交流協会代表

團（千田是也团长、白土吾夫副团长、岩波雄二郎、江崎誠致、川口浩三、林功、佐藤純子の諸氏）訪中、中国人民对外友好協会が故井上靖会長に「人民友好使者」の称号を追贈、北京での授与式に千田团长、白土副团长が出席。
 〇5月 全日本書道連盟代表团（田中凍雲团长、梅舒適顧問、種谷扇舟副团长、長揚石秘書長、関根薫園、金子聡松、山内観、日比野光鳳、山下方亭、高橋静豪、中野暁の諸氏）訪中。北京で「シルクロード管絃楽作曲コンクール入賞作品北京演奏会」開催、主催・中国对外文化交流協会、テレビ朝日、



圓城寺次郎顧問(左)を团长に、十八名の財界人からなる日本産業界代表团が訪中、朱鎔基副総理から、国の経済政策、内外の情勢などについて紹介を受けた

一九九一年八月三十一日 北京



中国の現代絵画を紹介する中川美術館開館三周年記念展開幕式に出席して中川健造館長(左)の歓迎を受ける賀敬之文化相

一九九一年四月二日 福山



俞偉超館長(右二)の解説で中国歴史博物館所蔵の名画を鑑賞する日本美術家代表団の高山辰雄(左二)、加倉井和夫(左四)、松尾敏男(右二)、入江観(左二)、奥谷博(左三)、大沼映夫(右三)の諸氏

一九九一年十一月九日 北京

審査委員長を務めた團伊玖磨氏の指揮で同氏作曲「管絃楽組曲シルクロード」を中央樂團が演奏。日本「中国曲芸鑑賞」訪中団（岡本文弥团长、戸板康二顧問、川上桂司秘書長、中野暁秘書、戸板當世子、吉川英史、吉川節子、吉川周平、郡司正勝、村上佳子、永井啓夫、永井富子、稲田和浩、林えり子らの諸氏）訪中。日本・現代歌人友好訪中団（石黒清介团长、大滝貞一副团长、佐藤祥子秘書長）一行十一名訪中。
 〇6月 銭其琛國務委員兼外相、周寒瓊夫人ら一行を招き日中友好六団体が歓迎昼食会、当協会から白土吾夫専務理事らが出席。中国文化界團基代表团（嚴文井团长、陳祖德顧問、李洪洲、葛康同、吳育紳、許雷、姜昆、秘書兼通訊・白兆雄の諸氏）来日。

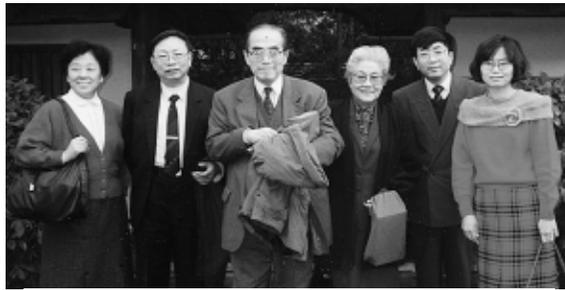
〇7月 篠田正浩常任理事、岩下志麻氏、令嬢・篠田舞氏が訪中。中国出版代表团（盧玉憶团长、单基夫、薛凡、于金蘭、石峰、加措、通訊・馮建新の諸氏）来日。

〇8月 日本松山市中学生訪中団（山口裕三团长、小暮貴代秘書長）一行二十名訪中。中国の水害に対し、当協会が緊急援助を呼びかけ。日本演劇家代表团（尾崎宏次团长、倉橋健、幸田弘子、梅野泰靖、大西多摩恵、原信之秘書の諸氏）訪中。日本産業界代表团（圓城寺次郎团长、日本経済新聞社顧問、今井大宗新日鐵相談役、橋口収廣島銀行頭取・全国地方銀行協会会長、村田友常日経保険センター所長・大妻女子

大教授、磯邊律男博報堂社長、樺原四



日本映画人代表団の篠田正浩団長(右二)、山田太一(左二)、池辺晋一郎(左一)、小栗康平(右一)の諸氏。一行は北京などで映画関係者と交流を深めた
——1991年12月4日 北京



京都・裏千家の今日庵を訪れた上海市対外友協代表団の張瑞芳団長(右三)、程十髮(左三)、江明惇(左二)、余秋雨(右二)、鄭玉在(左一)、張雪娜(右一)の諸氏
——1991年11月12日

上海市文学芸術界連合会の招きで協会代表団が訪中、上林湖の越窯遺址を訪れた(右から)尾崎秀樹団長、和太守卓良、森敏孝、北原亞以子の諸氏
——一九九一年十月六日 浙江省慈溪



郎三菱化成顧問、宮内一彦三菱信託銀行顧問、砂金俊夫NKK副会長、木村祐吉日経カルチャー社長、岡村昇本田技研工業相談役、小島章伸QUICK社長、永田晨日経BP社長、平澤貞昭元大蔵事務次官、大根田信雄日経秘書

室次長、秘書・木村美智子らの諸氏)訪中。
◎9月 正力亨東京読売巨人軍オーナー(読売新聞社主)一行訪中。中国音

衆家代表団(謝功成団長、高偉、辺多、邸作人、金秋秋秘書兼通訳の諸氏)来日。日本民法・環境法学者訪中団(加藤一郎団長、野村好弘副団長、山本寅之助、本井翼、本井佐和子、石外克喜、長塚安幸、三田地宣子、浅野直人、中山充、柳憲一郎、原信之秘書の諸氏)訪中、中国社会科学院法学研究所が加藤一郎氏に名誉教授の称号を授与。中国「美術評論家」代表団(華夏団長、姜維樸、楊成寅、王安建、黃可、陶勤秘書兼通訳の諸氏)来日。
◎10月 日中文化交流協会代表団(尾崎秀樹団長、森敏孝、北原亞以子、和太守卓良、横川健の諸氏)、上海市文学芸術界連合会の招きによる訪中。井上ふみ夫人(故井上靖会長夫人)、令嬢の黒田佳子氏、佐藤純子常任理事一行訪中。中国書法家協会刻字研究会成立祝賀日本刻字協会訪中団(A団||長揚石総団長、初見一雄団長、中野暁秘書長、B団||渡辺寒鷗団長、高際翠邦副団長、山田臥石秘書長)一行五十九名訪中。詩人の林氏一行来日、現代俳句協会、現代歌人協会で講演。中国人民対外友好協会代表団(孫平化団長、呉瑞鈞秘書長、林君雄、劉長瑜、鉄竹偉、王秀雲、蔡紅の諸氏)来日。
◎11月 日本文化界囲碁代表団(江崎誠致団長、竹之内静雄、前野昭吉、伊藤藤礼、伊藤啓子、斎藤宜郎、笠原淳、大門武二、大島正雄、大島政文、湯川恵子、中野暁、馬場隆の諸氏)訪中。上海市人民対外友好協会代表団(張瑞芳団長、程十髮、江明惇、余秋雨、鄭玉

在秘書長、張雪娜秘書兼通訳の諸氏)来日。日本美術家代表団(高山辰雄団長、加倉井和夫副団長、松尾敏男、大沼映夫、奥谷博、入江観、小暮貴代秘書の諸氏)訪中。
◎12月 日中文化交流協会代表団(團伊玖磨団長、團和子、今泉今右衛門、篠弘、木村美智子、小暮貴代秘書の諸氏)訪中。日本映画人代表団(篠田正浩団長、山田太一、池辺晋一郎、小栗康平、横川健の諸氏)訪中。

晩年の大作『孔子』のハイライトは「葵丘会議」だが、現実の世界平和にも関心の高かった井上靖会長は湾岸戦争の行く末を案じながら一月二十九日、逝かれた。創立当初から協会の交流活動に参画、訪中二十七回、親交ある中国文化界の名だたる人脈などもさることながら、文豪井上靖の名を知らない日本人はいないと行ってよい。八〇年六月の会長就任はさながら、満を持してエース登場、の趣があった。就任およそ十年、それは協会の真価が問われる十年だったが、井上会長はみずから先頭に立ち、見事にその重責を全うされた。協会が新たな時期に必要な新たな指導者に、最高最適の人を得たことは歴史の必然か、はたまた氏が天命とは自分で切り拓くものと悟ったからなのか。いずれにしても井上会長には唯々感謝の十年であり、残された私たちには天が落ちて途方に暮れる思いさえあった。